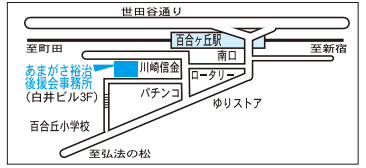




発行所/ 民進みらい川崎市議会議員団事務局
 〒210-8577
 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所第二庁舎内
 TEL:044-200-3355 FAX:044-245-4135

百合丘事務所 〒215-0011
 川崎市麻生区百合丘1-20-7 白井ビル3F
 小田急線百合ヶ丘駅下車徒歩1分
 TEL・FAX:044-955-2417
 メール: amagasa-@khaki.plala.or.jp



ホームページ: <http://www.e-amagasa.net> Facebook、ツイッターでも情報発信しています。

いよいよルート・事業費確定へ 精度を上げた調査が始まります

皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

今号では横浜市営地下鉄3号線延伸の進捗状況やアンケートでご協力いただきました川崎市域のルート選定について報告いたします。

これまで横浜市においては横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合丘の延伸に向けて航空測量をふくめた概略の調査が行われてきました。来年度からは駅施設の具体化や工法など主にハード面の整備に伴う事前精度を上げる最終調査に取りかかることとなりました。

この調査の内容は延伸区間全線でのルートの確定や駅位置、駅周辺の開発など事業において必要なすべての項目を明らかにする調査と言えます。つまり、総事業費を確定する精度の高い事業着手のための重要な調査であることを意味するのです。

川崎市が本格的な事業費の調査着手を

しかしながら、川崎市は既存の資料を提供するなどの協力はしてきましたが、川崎市においては何よりも建設に際して、横浜市との事業費の案分が重大な懸案事項であるとの姿勢からなかなか主体的な調査に着手してきませんでした。

ところが、ここにきて正確な総事業費を算出す

るには川崎市側のルート、新駅を含む駅位置、駅周辺の開発計画などを明らかにしないと決定できないことが判明しました。いうまでもなく川崎市側のルート、新駅を含む駅位置、駅周辺の開発計画などは当然ながら、川崎市が決定しなければならない自らのまちづくりに関することであり、横浜市が手を出すことはありません。事業早期達成には横浜市の今後の調査期間の中で本市も歩調を合わせて取り組まなければ事業費の案分すらできないことが明らかになったのです。

事業費を問題として川崎市の責任で行う調査を決断しないといつまでたっても案分の議論すらできないことを真剣に反省し、受け止めて本格的な調査着手をしなければなりません。

再三の指摘にもかかわらず本市がこのような後手後手に回ってしまったのは、残念ですがこれまで鉄道事業を行った経験がないことに起因していると言わざるをえません。事業早期達成のためには横浜市の今後の約2年間にわたる調査期間の中で本市も歩調を合わせ真剣に取り組むべきタイミングになったのです。さらに今回協調することによりこの後に控えている環境アセスメントや都市計画といった事務作業の時間短縮にも大きく貢献するのです。

今後とも皆様のお力をお貸しください。

横浜市営地下鉄3号線
延伸による
麻生区のまちづくり

川崎市と横浜市の 早期合意形成のため 意見をお聞かせください

福田・川崎市長にも
選挙公約実行を求めています

福田市長は2013年の選挙で、自分の公費ポスターに「横浜市営地下鉄3号線の延伸」を記載、特記しています



川崎市議会議員
あまがさ 裕治

要望書

川崎市長 福田 紀彦 様

代表者 川崎市議会議員 雨笠 裕治

これまで横浜市においては横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合ヶ丘の延伸に向けて航空測量をふくめた概略の調査が行われてきました。来年度からは駅施設の具体化や工法など事業化総予算を明らかにするために事前精度を上げる調査に入ります。

これまで本市でも既存の資料を提供するなどの協力はしてきましたが正確な総事業費を算出するためには横浜市の今後の調査期間の中で本市の主体的な調査が不可欠であり、今後の事務手続きにも重大な影響を与えます。

市長におかれては、協調し推進するための事業と予算を講じるよう、賛同する皆さんと要望します。

以上趣旨に賛同し署名します。

氏名	_____
住所	〒 _____
氏名	_____
住所	〒 _____
氏名	_____
住所	〒 _____

皆様の思いを訴えていきます 市長への要望書にご協力ください

今回の麻生通信では、福田市長に横浜市営地下鉄3号線あざみ野～新百合ヶ丘の延伸を促進させるために、皆様とともに訴え、要望を提出していきたく思います。

市長へ要望するために、趣旨に同意する署名欄に住所、氏名をお書き頂き、ご返送下さいますようお願い致します。

【署名は要望書以外には使用いたしません】

あまがさ裕治 平成28年の取り組み

- ・国土交通省からの交通政策審議会答申のヒアリング
- ・川崎市担当者へ交通政策審議会答申の考え方について説明
- ・川崎市交通政策室へこれまでのアンケート調査の結果および返信ハガキを提出
- ・横浜市会、横浜市担当者との協議
- ・川崎市長へ2回の予算要望
- ・川崎市副市長、まちづくり局長への申し入れ
- ・麻生区選出議員と語る会、白山まちづくり協議会等で進捗状況の説明

▶ 上の切り取り線で切ってFAX(044-245-4135)か、郵送で返信を